

## 12. JMSJ の電子化について

JMSJ の電子化は順調に進行しております。実際、11月中には全ての号の電子化・公開が、Journal@rchive または Project Euclid のいずれかに掲載されるという意味で、とりあえず完了することになります。

### (1) Project Euclid における電子化

54巻1号からカレントの59巻3号までを Project Euclid に掲載しています。

51巻から58巻3号までは、国立情報学研究所(NII)の SPARC 事業の援助により、印刷所から提供の PDF ファイルをもとに、掲載用にしおりなどを加えた PDF とメタデータを作成しております。現在、この形式の PDF ファイルは54巻から56巻までを掲載しておりますが、今後制作済みのファイルを全て掲載する作業を進めます。

### (2) Journal@rchive 事業による電子化

独立行政法人科学技術振興機構(JST)の Journal@rchive 事業による電子化は1巻から57巻までが対象で、スキャンなどの電子化作業はすでに完了しております。ただし、5年経過の号をオープン・アクセスにするという理事会の方針により、1巻から53巻までを現在公開しております。この事業による PDF ファイルを、今後 Project Euclid にも掲載していく予定です。

これに加えて、59巻4号から Project Euclid に加えて JST の J-Stage にもカレント号を掲載する予定です。これにつきましては、会員に対するアクセス権付与は行わず、購読者に対する IP アドレスによる電子版の購読権付与にとどめることとします。

### (3) 今後の予定

今後は全ての論文に DOI 番号を割り振り登録する作業をします。これにより、MathSci NET から論文へのリンクが進行することを期待しております。DOI 番号に割り振るリンク先としては、Project Euclid の電子版を指定することにします。また、Project Euclid のメタデータにおいて個々の論文の MR 番号を加えるなど、電子化さ

れた JMSJ の付加価値を高める作業を展開してまいります。

(出版委員会委員 戸瀬信之記)